

北秋田市教育大綱に基づく平成27年度実施状況（評価）及び平成28年度実施予定

教育大綱区分	学校教育編	担当課名	学校教育課・総務課						
重点目標 1	自分で判断し自分で行動できる力を育てます								
主要施策	H27実施状況・成果等	施策評価	H27関連事業名	新規・継続		H27事業評価	H28関連事業名	新規・継続	
確かな学力の定着	4月に実施した全国学力学習状況調査（文科省）では、小中学校とも県平均を上回り良好な結果であった。市単独実施の標準学力テスト、県学習状況調査でも同様な結果である。この傾向は最近来継続しており、望ましい状況と言える。生活サポート員の配置は、学力向上にとって大きな効果がある。	A	全国標準学力検査・知能検査	継続		B	全国標準学力検査・知能検査	継続	
			教育センター事業	継続		A	教育センター事業	継続	
			外国青年招致事業	継続		A	外国青年招致事業	継続	
			学校生活サポート推進事業	継続		A	学校生活サポート推進事業	継続	
問いを発する子どもの育成	自分の考えを進んで発表したり、人前でも臆せず表現したりする児童生徒が増えている。学校として様々な表現する場を意図的に設定したり、工夫したりして、計画的に育成している。	B	教育センター事業	継続		A	教育センター事業	継続	
			子ども議会	継続		A	子ども議会	継続	
豊かな心と健やかな体の育成	不登校・不登校傾向児童生徒が現時点で17名いる。リフレッシュ学園やさわやか教室の利用、家庭や関係機関と連携しながら登校に向けて指導している。いじめも存在するが深刻な状況の事案はない。	B	さわやか教室（指導員報酬）	継続		B	さわやか教室（指導員報酬）	継続	
			リフレッシュ学園事業	継続		A	リフレッシュ学園事業	継続	
			学校給食運営事業	継続		A	学校給食運営事業	継続	
重点目標に関するH27年度総括（成果・課題等）		重点目標に関するH28年度方向性等				備考			
<p>確かな学力の定着、問いを発する子どもの育成は、すべての学校で重点課題として取り組んでいる。その結果、学力については各種調査結果からも良好な状況にある。今後も継続して高い学力を維持したい。</p> <p>教育環境整備の観点では、他市町村に比べ北秋田市は教材備品や消耗品費、図書費などがたいへん充実している。そのことも成果をあげている要因の一つとなっている。今後も、あらゆる教育活動において「主体的に判断し行動できる力」を意図的・計画的に育てていきたい。</p> <p>食育に関しては給食センター栄養士が各校を訪問し食育の授業も行っている。</p>		<p>・「主体的に判断し行動できる力」を育てるためには、全ての教育活動で教師主導の授業から子どもが主体的に子どもが活躍（活動）する授業への転換が求められる。そのことを多くの教師が心がけて授業改善に努めているが、教師によってはまだまだ改善の余地がある。高い学力をぜひとも維持・継続したい。</p> <p>・教材備品費などの教育予算についても、教育効果を高めるための重要な要素であるため、引き続き配慮をお願いしたい。</p> <p>・支援が必要な児童生徒が増えているため、学校生活サポート員を4名増やし30名にしたい。</p> <p>・外国青年招致事業では、英語教育・英語活動充実のため2名のALTを増員し7名にしたい。さらに、国際交流員も配置し、市活性化のため幅広く活躍させたい。</p>				<p>※全国標準学力検査（委託料）は、教育センター費に含まれる。</p> <p>※さわやか教室の指導員報酬は、教育センター費に含まれる。</p> <p>※学校生活サポート4名を増やすため、予算増になっている。</p> <p>※国際交流員は市単独予算の単独。国際交流、ALTの指導、外国人の本市への観光、英語版市ホームページの作成など、市活性化のために幅広い活躍が期待できる。</p>			
【評価について】									
主要施策の評価	A：十分に達成		B：概ね達成		C：少し達成（要改善）		D：ほとんど未達成		
関連事業の評価	A：十分な成果あり		B：概ね成果あり		C：成果は少ない		D：ほとんど成果なし（要見直し）		未：未実施

北秋田市教育大綱に基づく平成27年度実施状況（評価）及び平成28年度実施予定

教育大綱区分	学校教育編	担当課名	学校教育課
重点目標 2	学校・教師の力を高め魅力ある学びの場をつくります		

主要施策	H27実施状況・成果等	施策評価	H27関連事業名	新規・継続	H27事業評価	H28関連事業名	新規・継続
授業改善による指導力の向上	全教師が年間最低1回は研究授業を実施し指導力の向上を図っている。PDCAサイクルに基づいた授業改善、校内研究体制も充実してきている。より一層層子ども主体の授業を実践していくのが今後の課題となる。	A	教育センター事業	継続	A	教育センター事業	継続
教師力の向上、信頼される教師の育成	授業研究・改善ばかりではなく、幅広い識見と教育愛をかん養するための幅広い研修、社会の変化に即応した研修の充実が必要である。また、教員の高齢化も進んでいるため、若年・中間年齢層の教員の教師力を高めることが急務となっている。	B					
自己実現、夢の実現をかなえる教育活動の推進	各校で「ふるさと教育を重視したキャリア教育」が教育活動全体を通して実施されている。学齢や発達段階を踏まえた活動を工夫している。今後は「将来、地域を背負う人材の育成」「ふるさとの活性化」という視点で全市的（行政）なキャリア教育の理解が必要となると考えている。	B	中学生職場体験活動	新規	B	中学生職場体験活動	継続

重点目標に関するH27年度総括（成果・課題等）	重点目標に関するH28年度方向性等	備考
学力面で継続して成果をあげていることから考えれば、教員の指導力は着実に向上してきているといえる。各校の研究体制や研究内容も年々質的に向上してきている。数少ない若年・中間年齢層の教員の教師力を高めることが急務となっているため、各校でも工夫した取組が必要である。	授業研究・改善ばかりではなく、幅広い識見と教育愛をかん養するための幅広い研修、社会の変化に即応した研修の充実が必要である。市教育センターの研修内容の工夫も必要であるが、県総合教育センターの研修講座や他機関で実施する研修会への積極的参加を呼びかけていきたい。「ふるさとキャリア教育」の推進には全市的（行政）な理解が必要である。	【H19-28 小学校再編整備計画】 適正規模の学校・学級を目指した当計画は、中央小と鷹巣南小の統合の残してすべて計画通り実施した。再編により統合した小学校については成果が十部あった。 【H29-38 小・中学校再編整備計画】 前計画で実施できなかった学校、さらには中学校も含め、新たな再編整備計画を28年度中に策定する。

【評価について】

主要施策の評価	A：十分に達成	B：概ね達成	C：少し達成（要改善）	D：ほとんど未達成
関連事業の評価	A：十分な成果あり	B：概ね成果あり	C：成果は少ない	D：ほとんど成果なし（要見直し） 未：未実施

北秋田市教育大綱に基づく平成27年度実施状況（評価）及び平成28年度実施予定

教育大綱区分	学校教育編	担当課名	学校教育課
重点目標 3	学校・家庭・地域が連携し支え合う取組を推進します		

主要施策	H27実施状況・成果等	施策評価	H27関連事業名	新規・継続	H27事業評価	H28関連事業名	新規・継続
地域との双方向の連携・信頼を築く学校づくり	全小中学校で実施している「学校支援地域本部事業」を活用し、地域の教育資源の教育活動への積極的な活用、地域と連携した教育活動など、各校が工夫を凝らしながら特色ある活動を実施している。	A	学校支援地域本部事業（生涯学習課）	継続	A	学校支援地域本部事業（生涯学習課）	継続
			総合学習補助金（16校）	継続	A	総合学習補助金（15校）	継続
地域に元気を届け、地域の活性化に貢献する学校づくり	地域と共催した学校行事やイベント、各種ボランティア活動など「地域貢献」を意識した特色ある教育活動が各校の工夫で実施されている。市教委としては、通常の教育活動に支障のない範囲で実施するよう周知している。	A	学校支援地域本部事業（生涯学習課）	継続	A	学校支援地域本部事業（生涯学習課）	
安全・安心な教育環境の整備	全小学校で地域による「見守り隊」が組織され、登下校時の安全を進めている。26年度から「通学路交通安全推進会議」が組織され、通学路の安全について検討し、しかるべき措置をとっている。	B	通学路交通安全推進会議	継続	A	通学路交通安全推進会議	継続
			地域による見守り隊	継続	A	地域による見守り隊	継続

重点目標に関するH27年度総括（成果・課題等）	重点目標に関するH28年度方向性等	備考
地域と共に歩み、双方向の連携・信頼を築く学校づくりは、全ての学校に浸透し確かな実践が行われている。そのことは、地域の活性化にも貢献し、「地域ぐるみで子どもを育てる」という気風が醸成してきている。「通学路交通安全推進会議」は国・県・警察（公安）・市が委員となり、現地点検も行いながら必要な措置をしている。26・27年度も実際に安全対策が実施された箇所もあり、実効力のある組織になっている。	地域との連携を図った学校づくり、特色ある教育活動は、28年度も27年度同様、さらに充実していくものと考えている。ただし、通常の教育活動に支障のない範囲内で実施することは周知していきたい。「見守り隊」は、年に一回程度、各校毎に見守り隊と情報交換を実施する必要があると考えている。	※「学校支援地域本部事業」は生涯学習課の事業で予算計上している。 ※「通学路交通安全推進会議」で検討結果、対策が必要な箇所については、国・県・警察（公安）・市がそれぞれ予算措置をしている。

【評価について】

主要施策の評価	A：十分に達成	B：概ね達成	C：少し達成（要改善）	D：ほとんど未達成
関連事業の評価	A：十分な成果あり	B：概ね成果あり	C：成果は少ない	D：ほとんど成果なし（要見直し） 未：未実施

北秋田市教育大綱に基づく平成27年度実施状況（評価）及び平成28年度実施予定

教育大綱区分	生涯学習編	担当課名	生涯学習課
重点目標	市民と行政が一体となった生涯学習の推進		

主要施策	H27実施状況・成果等	施策評価	H27関連事業名	新規・継続	H27事業評価	H28関連事業名	新規・継続
知識や経験を次代に活かします	今日的課題をテーマにした学習機会の提供と、高齢者の主体的な学びと生きがいの推進をはかっている。	B	公民館講座開設事業	継続	B	公民館講座開設事業	継続
			高齢者教育事業	継続	B	高齢者教育事業	継続
			生涯学習交流施設事業	継続	B	市民ふれあいプラザ推進事業	新規

重点目標に関するH27年度総括（成果・課題等）	重点目標に関するH28年度方向性等	備考
高齢者大学やGちゃんサミットなど、元気な高齢者が主体的に学ぶことで地域のコミュニティ再生の取り組みや、賑わいづくりなど、様々な課題に対応した取り組みができた。	講座参加者及び高齢者の学ぶ意欲の向上や仲間づくりを重点に、主体的なボランティア活動、地域貢献など、地域活性化につながる活動を支援する。	【市民ふれあいプラザ】 ・「にぎわい創出」に向け、市役所内の関係各課との連携を図る。

【評価について】

主要施策の評価	A：十分に達成	B：概ね達成	C：少し達成（要改善）	D：ほとんど未達成	
関連事業の評価	A：十分な成果あり	B：概ね成果あり	C：成果は少ない	D：ほとんど成果なし（要見直し）	未：未実施

北秋田市教育大綱に基づく平成27年度実施状況（評価）及び平成28年度実施予定

教育大綱区分	生涯学習編	担当課名	生涯学習課
重点目標	地域・世代を超えた心の交流		

主要施策	H27実施状況・成果等	施策評価	H27関連事業名	新規・継続	H27事業評価	H28関連事業名	新規・継続
学校・家庭・地域が共に育ちます	学校、家庭、地域を繋げる活動の推進と高齢者の知識や技術など地域の人材活用で、学校・地域の相互の学習向上に努めている。	B	学校支援地域本部事業	継続	B	学校支援地域本部事業	継続
			青少年育成事業	継続	B	青少年育成事業	継続
			放課後児童健全育成事業	継続	B	放課後児童健全育成事業	継続

重点目標に関するH27年度総括（成果・課題等）	重点目標に関するH28年度方向性等	備考
<p>少子高齢化における、学校支援地域本部事業では、学校と地域の連携強化により、地域の知識・経験を子どもたちに活かすことで、生きがいや地域の活性化につながった。</p>	<p>学校支援事業をとおして、地域との連携・協働で子どもたちの体験や経験をさらに推進し、地域の良さを知ってもらうためのふるさと教育の充実を図る。</p>	<p><放課後児童健全育成事業> ・H28年度の鷹巣小学校と鷹巣西小学校との統合により、鷹巣小児童クラブの利用者が増えることが見込まれるため、鷹巣小学校付近の市有地への新築を検討中。</p>

【評価について】

主要施策の評価	A：十分に達成	B：概ね達成	C：少し達成（要改善）	D：ほとんど未達成	
関連事業の評価	A：十分な成果あり	B：概ね成果あり	C：成果は少ない	D：ほとんど成果なし（要見直し）	未：未実施

北秋田市教育大綱に基づく平成27年度実施状況（評価）及び平成28年度実施予定

教育大綱区分	生涯学習編	担当課名	生涯学習課
重点目標	豊かな感受性と健康な体づくりの推進		

主要施策	H27実施状況・成果等	施策評価	H27関連事業名	新規・継続	H27事業評価	H28関連事業名	新規・継続
芸術文化をとおり、心を豊かにします	芸術文化鑑賞の機会の拡充と読書活動の推進及び浜辺の歌音楽館やみちのく子供風土記館での芸術文化活動の活用を図っている。	B	文化振興事業	継続	B	文化振興事業	継続
			文化祭開催事業	継続	A	文化祭開催事業	継続
郷土を愛し、文化を継承します。	市内文化財の保護継承と民俗芸能の発表機会拡充及び伊勢堂岱遺跡の環境整備で見学者の利便性向上に努めている。	B	文化財保護事業	継続	B	文化財保護事業	継続
			文化財管理事業	継続	B	文化財管理事業	継続
			伊勢堂岱遺跡見学環境整備事業	継続	B	伊勢堂岱遺跡見学環境整備事業	継続
			伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進事業	継続	B	伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進事業	継続

重点目標に関するH27年度総括（成果・課題等）	重点目標に関するH28年度方向性等	備考
芸術文化の取り組みは、仲間との交流や技術向上への学ぶ意欲と生きがいづくりとなっている。また伝承芸能や文化財を保護し継承に努めることで、北秋田市の宝を市外に発信できたし、伊勢堂岱遺跡のジュニアガイドボランティアの誕生は注目を集めた。	学校と地域の連携・協働の活動をさらに推進し、文化財の保護や継承活動で後継者の育成と、多くの子ども達にふるさとを愛する心の醸成をはかる。また、地域の歴史や文化財を宝として市の活性化に役立てていきたい。	<世界遺産登録に向けた取り組み状況> ①景観条例の制定 ②保存管理計画の策定 ③世界遺産登録推進会議構成自治体との連携強化 <伊勢堂岱遺跡ガイド施設運営の展望> ①展示物の公開 ②体験学習 ③ボランティアの育成

【評価について】

主要施策の評価	A：十分に達成	B：概ね達成	C：少し達成（要改善）	D：ほとんど未達成	
関連事業の評価	A：十分な成果あり	B：概ね成果あり	C：成果は少ない	D：ほとんど成果なし（要見直し）	未：未実施

北秋田市教育大綱に基づく平成27年度実施状況（評価）及び平成28年度実施予定

教育大綱区分	スポーツ振興編	担当課名	スポーツ振興課
重点目標	【地域スポーツ】地域の人々の主体的な協働により、深い絆で結ばれた一体感や活力がある地域社会		

主要施策	H27実施状況・成果等	施策評価	H27関連事業名	新規・継続	H27事業評価	H28関連事業名	新規・継続
スポーツによる人と人、地域と地域との交流の促進	・大会の開催により、市民参加やボランティアの参加等によりスポーツへの関心が高い。	A	100キロチャレンジマラソン大会補助事業	継続	A	100キロチャレンジマラソン大会補助事業	継続

重点目標に関するH27年度総括（成果・課題等）	重点目標に関するH28年度方向性等	備考
・地域イベントとして定着し、にぎわいの創出・スポーツを通じた地域の活性化が図られている。	・県、北秋田市、仙北市、実行委員会等で協力会議を組織し、大会継続に係る問題点の解決を図る。	

【評価について】

主要施策の評価	A：十分に達成	B：概ね達成	C：少し達成（要改善）	D：ほとんど未達成	
関連事業の評価	A：十分な成果あり	B：概ね成果あり	C：成果は少ない	D：ほとんど成果なし（要見直し）	未：未実施

北秋田市教育大綱に基づく平成27年度実施状況（評価）及び平成28年度実施予定

教育大綱区分	スポーツ振興編	担当課名	スポーツ振興課
重点目標	【競技スポーツ】スポーツ選手の活躍により、市民に誇りと喜び、夢と感動を与え、活力ある社会		

主要施策	H27実施状況・成果等	施策評価	H27関連事業名	新規・継続	H27事業評価	H28関連事業名	新規・継続
スポーツ環境の整備	体育施設の適切な維持管理を行うことで、利用者の安全性と利便性が図られる。					鷹巣北野球場整備	新規
各種スポーツ大会の奨励	スポーツ大会を開催することにより、競技の普及と競技力向上、更には地域の活性化を図る	A	北秋田市スポーツ大会開催補助	新規	A	北秋田市スポーツ大会開催補助	継続

重点目標に関するH27年度総括（成果・課題等）	重点目標に関するH28年度方向性等	備考
・学校体育から社会体育への移行により、小学生大会の主権を競技団体に担ってもらおう。	・スポーツを行う環境をハード面、ソフト面から整えていく。	・スポーツ基本法第21条（抜粋） 地方公共団体は住民が快適にスポーツを行い相互に交流を深めることができるスポーツ施設の整備に努めなければならない。

【評価について】

主要施策の評価	A：十分に達成	B：概ね達成	C：少し達成（要改善）	D：ほとんど未達成	
関連事業の評価	A：十分な成果あり	B：概ね成果あり	C：成果は少ない	D：ほとんど成果なし（要見直し）	未：未実施